

恋の病い (1987)

MALADIE D' AMOUR
MALADY OF LOVE

メディア 映画

ジャンル ドラマ ロマンズ

製作国 フランス

色彩 Color

時間 118分

初公開日 1988/07/16

公開情報 シネマテン

【解説】

ポルドー行き列車の同じコンパートメントに乗り合わせたジュリエット（キンスキー）とクレマン（オングラード）。別に言葉を交わすわけでもなかったが、互いに何故か気になっていた。街で出逢った医師のラウル（ピッコリ）と暮らし始めたジュリエットだったが、偶然ラウルの部下だったクレマンと再会し、二人は恋に落ちる。婚約者と別れ、病院を辞めたクレマンはジュリエットと田舎に越し、開業する。しかし、彼の将来に自分の存在が負担になると思った彼女は、家を出てラウルの元に戻るのだが、彼女の身体にある異変が起きていた。と、まあ書いていて嫌になるくらい、例えば日本のTVドラマのように陳腐なストーリー。フランス映画は、サカリを、恋という名のソースで巧みに口当たりの好い料理に仕上げるが、あっちのオス、こっちのオスと、こんなの只の尻軽女だ！ ナス・キンが美しいが、それのみにしか価値を見出せない映画。

【クレジット】

監督	ジャック・ドレー	Jacques Deray
製作	マリー＝ロール・レール	Marie-Laure Reyre
原案	アンジェイ・ズラウスキー	Andrzej Zulawski
脚本	ダニエル・トンプソン	Daniele Thompson
撮影	ジャン＝フランソワ・ロバン	Jean-Francois Robin
音楽	ロマーノ・ムスマツラ	Romano Musumarra
出演	ナスターシャ・キンスキー	Nastassja Kinski
	ジャン＝ユーグ・アングラード	Jean-Hugues Anglade
	ミシェル・ピッコリ	Michel Piccoli
	ジャン＝クロード・ブリアリ	Jean-Claude Brialy